

「はなの木ボランティア」ってなーに？

皆さん、病院の正面玄関に入って左側にエプロン姿の女性が立っているのをご存知ですか？
「ボランティア受付」「気軽にお申し出ください」のカードを乗せた机のある場所です。
病院の開設とともに誕生し、ずっと活動を続けている「はなの木ボランティア」のメンバーです。
はなの木ボランティアではこんな活動をおこなっています。



付き添いのご家族が車を移動される間など、
ご希望に添って活動しています。
お役に立ちたいを基本とした活動です。
お手伝いのご希望があれば、エプロン姿の
女性に気軽にお声をおかけください。



※「お手伝いしましょうか」と
確認し、強要はしません。
※担当中に見聞きしたこと、
患者さんのことは口外しません。

花の木ボランティアでは、一緒に活動して下さる方を募集しています。

活動日：月に1度 午前9時から11:30まで

(これ以外に年に1度、総会と社会見学があります。)

興味のある方は、胸にお花のついた白いエプロン姿の者にお声をおかけください。詳しくご説明いたします。

向こう3ヶ月間の行事予定

日時	行事名	場所
10月21日～25日	患者満足度調査(外来)	会計前
10月22日(火)	いきいき健康講座「災害について～自分の手当て、助け合いの手当て～」	1階エントランスホール
10月28日(月)	糖尿病教室「あなたが変わる運動のコツ」	2階講義室
11月頃	お茶会	1階エントランスホール
11月1日(金)	バラ展	1階エントランスホール
11月11日(月)	糖尿病教室「合併症を防ぐカギ」	2階講義室
11月26日(火)	いきいき健康講座「知って得する糖尿病予防講座」	1階エントランスホール
12月2日(月)	糖尿病教室「誰でもできる食事療法のコツ」	2階講義室
12月18日(水)	クリスマスコンサート	1階エントランスホール
12月24日(火)	いきいき健康講座「認知症を正しく知ろう」「さあ！始めてみましょう。今日からできる骨盤底筋体操」	1階エントランスホール
12月25日(水)	サンタクロースが院内を回ります！	

サンケア、ご存知ですか？ ～認知症者の笑顔のために～

皆さんは認知症と聞いてどのようなことを思い浮かべますか？「何もできなくなってしまう」「認知症は大変だ」等の思いを浮かべる人が多いと思います。

しかし、認知症でも周囲の人が少し力を貸すことで、自分でできることはたくさんあります。確かに今までできたことができない時もありますが、残っている力はたくさんあるのです。適切な関わりを持つことで、認知症者や認知症者を取り巻く全ての人々が笑顔で生活できると思います。

当院でも、認知症を患っている患者さんは増加しています。入院して環境が変わり、症状が悪化する事も少なくありません。その様な場合、患者さん自身も安心して入院生活を送ることができず、家族も戸惑いを感じてしまいます。私は認知症看護認定看護師として認知症者、家族が安心して入院生活を送る為に、入院患者さんを対象とした院内デイケア「サンケア」を昨年の4月から始めました。毎週火曜日の14時～16時に5階病棟のダイニングルームでおこなっています。

内容は患者さんの状態によって様々ですが、絵を描く事が好きな人は絵を描いたり、色を塗るのが好きな人は色塗りや、貼り絵の作業を実施しています。院内のローソンの隣にある休憩スペースにはサンケアで作成した作品を展示してあります。ぜひ一度、ご覧ください。

サンケアの名前の由来は…

1. 患者さんが太陽(サン)のように輝いていて欲しい
2. 看護師が太陽の様に温かなケアを提供する
3. 3つ(サン)の理念を持って実施する
 - ①心を癒すケアをします
 - ②思いやりのあるケアをします
 - ③その人個人の人格を尊重し個別的な存在として受け止めます



また、桜の咲いている時は散歩にも出かけました。患者さん同士も会話をされ、笑顔でお話されています。なかには一心不乱に作業に取り組んでいる方もみえ、病棟では見せない表情を見ることがもできます。病院に来院された際は一度サンケアを覗いてみてください。気持ちが少し温かくなると思います。

私達はこれからも認知症者、そして認知症者を取り巻く全ての人々が笑顔でいられる様にサポートをしていきたいと思っています。

(認知症看護認定看護師 今井清美)

新任医師紹介 ①名前(かな) ②所属 ③前任地 ④ひとこと

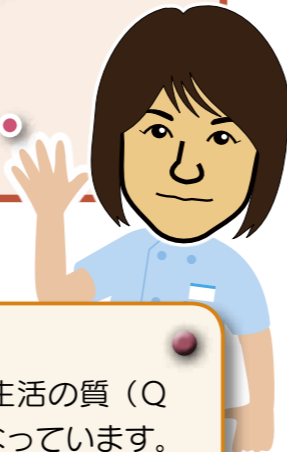
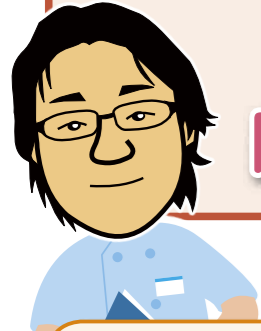


①大橋 禎史(おおはし よしふみ)
②整形外科 ③名古屋医療センター
④はじめまして。名古屋医療センターから参りました大橋禎史です。前の病院では外傷と人工関節を中心に診療していました。前医での経験を患者さんに生かせられたらと思います。よろしくお願ひします。



①辻内 高士(つじうち たかし)
②脳神経外科 ③名古屋大学
④部長の塚本先生と力を合わせて、この地域の皆様の脳卒中をはじめとする脳神経外科疾患の適切な治療及び予防に取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

碧南市民病院の地域連携室は 「顔の見える連携」 「心の通じ合える」を大切に・・・



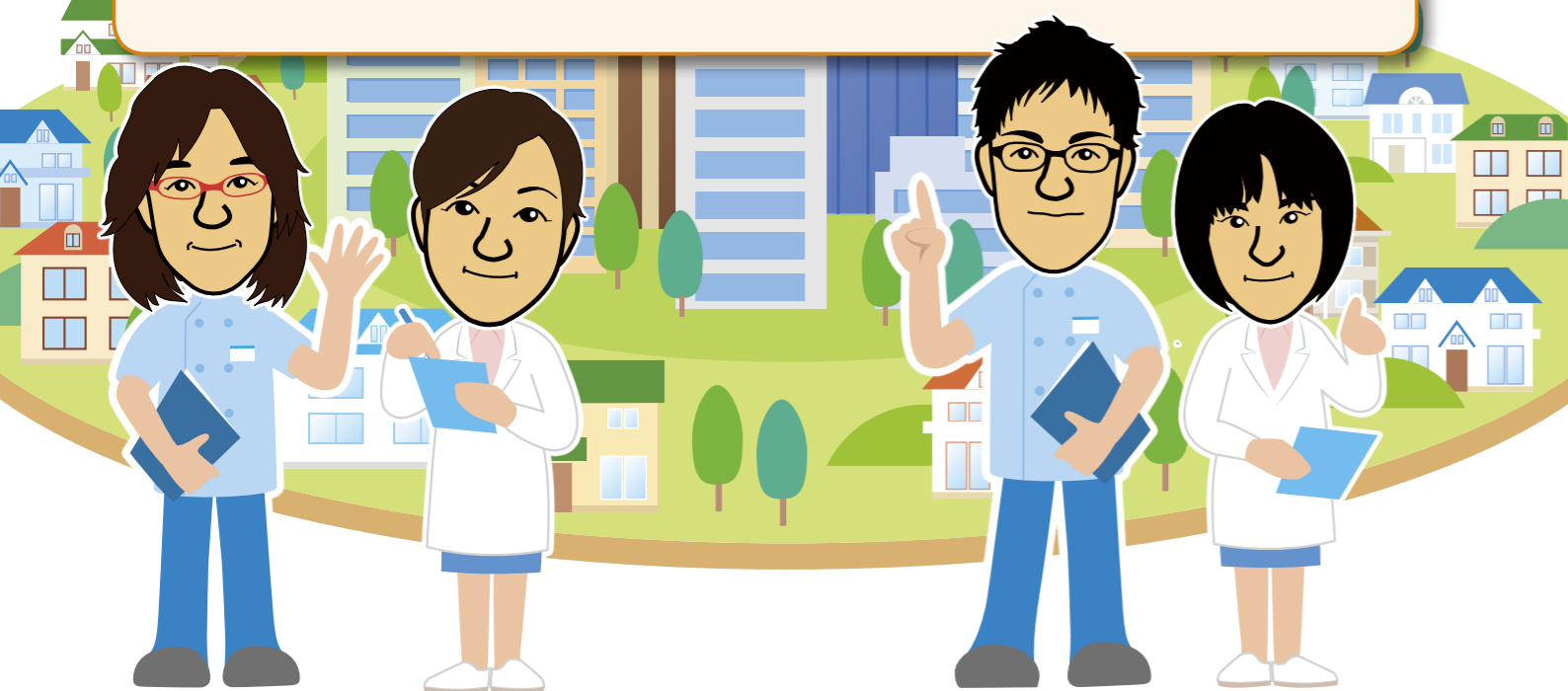
当院の医療相談は平成 11 年 4 月に医療社会事業室（平成 14 年 4 月に医療福祉相談室に名称変更）に医療ソーシャルワーカー（以下MSW）が配属され、8月から医療福祉相談業務を開始しました。その後、平成 12 年 9 月に病診連携室が設置され、平成 16 年 12 月に地域連携室に名称変更し、平成 20 年 4 月に医療福祉相談室と組織統合し現在に至ります。

地域連携室では、患者さん・ご家族が安心して療養生活が送れるよう、退院後の療養先（転院・施設入所・在宅介護）についての相談や医療費の支払い、福祉制度のご案内などの医療福祉相談を看護師 2 名とMSW 4 名が行っております。

生活習慣病や認知症、老化による身体機能の低下は、治療だけでは根治が難しく、病気や老化とうまくつきあいながら、いかに

に自分らしく生きるか、その生活の質（QOL）が重要視される時代となっています。碧南市民病院は、急性期病院としての治療は当然ですが、患者さんが、退院後、どこでどんな生活をするのかを視野に入れて、入院早期から相談にのっています。

また、外来でも、「突然の入院で家を留守にするのは困る!」「病気でも仕事を休めない!」「医療費はいくらかかるの?」「親の介護をすることになったけど、どうしたらいいの?」など病気やけがをした時は、本人だけでなく、まわりの方の生活にも不便や不安が生じます。そういった心配ごとを一緒に考え、よりよい解決策を見つけ、悩みごとを少しでも減らして治療に専念できるように、地域連携室は、「信頼と安心を提供できる部署」となりたいと思っています。



平成24年度 碧南市民病院事業会計決算報告

～「温かな心のこもった医療」を提供するために

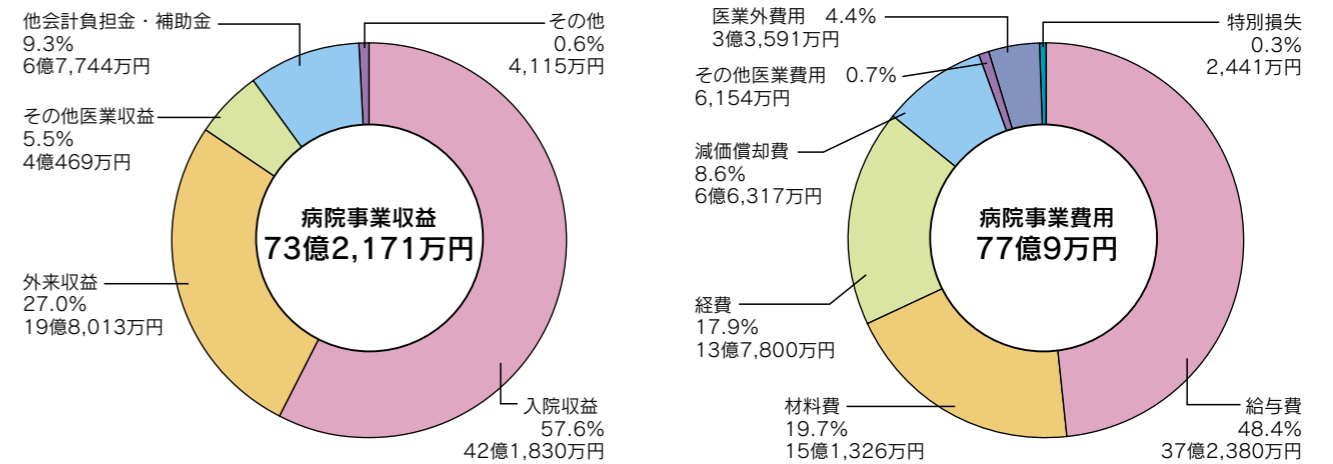
決算概要

外来患者数(救急外来含む)は 194,225 人で昨年より 3,987 人の増加となりました。しかし、入院患者数(退院患者含まず)は 86,383 人で 1,591 人の減少となりました。

経営状況につきましては、病院事業収益 73 億 2,170 万円余、病院事業費用は 77 億 9 万円余で差引き 3 億 7,838 万円余の純損失（前年度は 1 億 9,292 万円余の純損失）となり、その結果、累積欠損金は 54 億円余と悪化しました。

医療機器の整備等

医療機器については、腹腔鏡手術用ビデオシステム、手術用无影灯の更新を行い医療設備の機能向上と充実を図りました。また、病院の支払い窓口にある診療費支払機の更新、空調熱源改修及び非常用発電機設置工事、R101 排熱改修吸収式冷凍機改修工事、外壁補修工事等を行いました。



平成24年度 決算状況

	平成 23 年度	平成 24 年度	増減	
入院	延べ患者数	87,974 人	86,383 人	△ 1,591 人
	1日平均患者数	241.0 人	236.6 人	△ 4.4 人
	診療単価	48,385 円	48,833 円	448 円
	病床利用率	75.1%	74.0%	△ 1.1 ポイント
外来	延べ患者数	190,238 人	194,225 人	3,987 人
	1日平均患者数	724.3 人	737.2 人	12.9 人
	診療単価	10,280 円	10,195 円	△ 85 円
病院事業収益	7,363,046 千円	7,321,709 千円	△ 41,337 千円	
病院事業費用	7,555,967 千円	7,700,090 千円	144,123 千円	
単年度純損益	△ 192,921 千円	△ 378,381 千円	△ 185,460 千円	

今後も地域のみなさんに信頼され選ばれる病院として、医療の質の向上と経営改善に全力で努めてまいります。